

災害対策マニュアル  
患者さん用  
— 災害に備えて —

特定医療法人五仁会  
元町 HD クリニック

## I. 情報と連絡

ご自身が被災した場合もしくはクリニックが被災した可能性があると思われる状況のときは、下記の連絡手段を使ってクリニックまで連絡してください。

クリニックからは災害優先電話を用いて、できる限り各患者さんにクリニックの被災状況および今後の治療予定をお知らせします。（この電話はクリニックからの発信のみが優先されます。）

### 患者さんからクリニックへの連絡手段

1) 一般回線電話

078-321-6800

2) 携帯電話

090-〇〇〇〇-〇〇〇〇（申携帯）

3) インターネットホームページ掲示板

<http://homepage2.nifty.com/mhdc/>

### その他連絡先

#### 電話番号

クリニック公衆電話：078-〇〇〇-〇〇〇〇

事務所池田携帯：090-〇〇〇〇-〇〇〇〇

看護部草野携帯：090-〇〇〇〇-〇〇〇〇

臨床工学部森上携帯：090-〇〇〇〇-〇〇〇〇

臨床検査部清水携帯：080-〇〇〇〇-〇〇〇〇

#### メールアドレス

申： [XLA00000@nifty.ne.jp](mailto:XLA00000@nifty.ne.jp)

日高： [XLU00000@nifty.ne.jp](mailto:XLU00000@nifty.ne.jp)

田中佳： [tana00000@yahoo.co.jp](mailto:tana00000@yahoo.co.jp)

森上： [XLX00000@nifty.ne.jp](mailto:XLX00000@nifty.ne.jp)

清水： [yasu00000@yahoo.co.jp](mailto:yasu00000@yahoo.co.jp)

押部： [JDX00000@nifty.ne.jp](mailto:JDX00000@nifty.ne.jp)

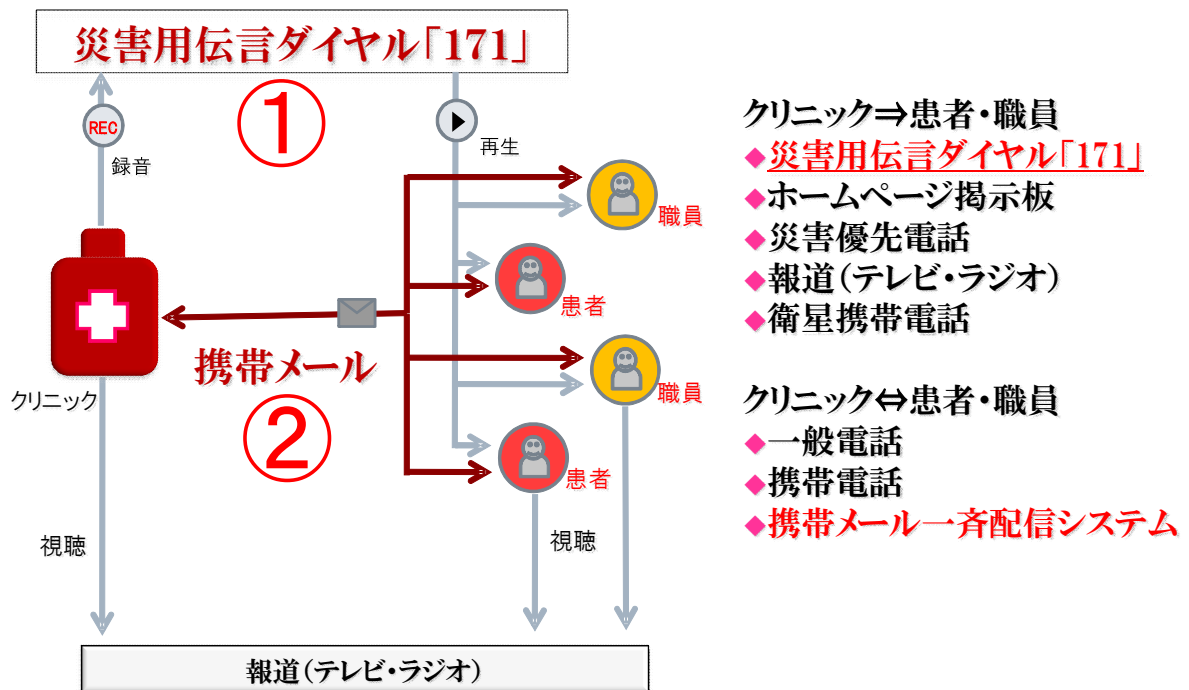


図. 災害発生時連絡系統図

図に災害発生時連絡系統図を示します。

災害発生当初は、電話回線が輻輳（ふくそう）してつながらない可能性が非常に高くなります。

災害優先電話は、クリニックからの発信専用です。クリニックからは、災害優先電話を用いて順次、連絡していきます。患者さん側からは一般回線電話、一般携帯電話およびインターネット回線が繋がらない場合、図中の「NTTの災害用伝言ダイヤル」でクリニックの情報を確認してください。

#### 1) NTTの災害用伝言ダイヤル「171」

**これは、クリニックの状況を皆様にお知らせするための手段です。**震度6弱以上の地震発生時や災害の発生により被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

クリニックの担当者が状況や今後の治療予定を録音しますので、患者の皆様は再生してクリニックからの伝言を聞いてください。（情報登録件数に制限があるため、皆様は、録音はせずに再生のみでお願いいたします。）

情報の更新は**随時おこないます**。ただし、これも確実につながるというわけではありません。他の通信方法よりも高い確率でつながりますが、絶対ではないということを理

解しておいてください。

NTT 災害用伝言ダイヤルの利用方法等、詳細を別添します。

## II. 緊急時に備えて、普段から心掛けておいて欲しいこと

- 1) 診察券および透析情報シートまたはそれに準ずるカード類は常時携帯して下さい。
- 2) 服用中のお薬を2, 3日分持っておき、薬剤名を覚えておいて下さい。

## III. 透析中に災害が発生した場合

- ・ **慌てて各自勝手な行動をせず、必ずスタッフの指示に従って行動して下さい。**
- ・ スタッフが被災状況を調べ、災害の緊急度を決めます。
- ・ 阪神淡路大震災級の大地震でも、すぐに避難しなければならない状況は少なかったと思われます。緊急離脱が必要になる場合は、火災、建物の崩壊、そして場合によっては津波が考えられますが、それ以外は逆に動かないほうが安全と言えます。
- ・ 万一、緊急避難しなければならなくなった場合、血液を透析器および血液回路に残したまま離脱します。
- ・ **緊急離脱作業はすべてスタッフが行ないます。**一分一秒を争う状況になるかも知れませんが、あせって各自単独の行動をとった時の方が失血等、悲惨な状況を招く心配がありますので、**あせらずに順番を待ってください。**
- ・ 避難に際して、**必ずスリッパなどを履き、慌てずに落ちついてスタッフの指示に従って行動するようつとめて下さい。**
- ・ **地震の際、落下物から身を守るため、頭から毛布をかぶってください。**
- ・ 火災発生時に避難する際はできるだけ身をかがめ、タオルを口と鼻にあてて、スリッパを履いてスタッフの誘導に従い避難して下さい。

### **緊急時避難場所**

※ 火災などによる一時避難場所は、ビル玄関前向い側のバス停広場とします。